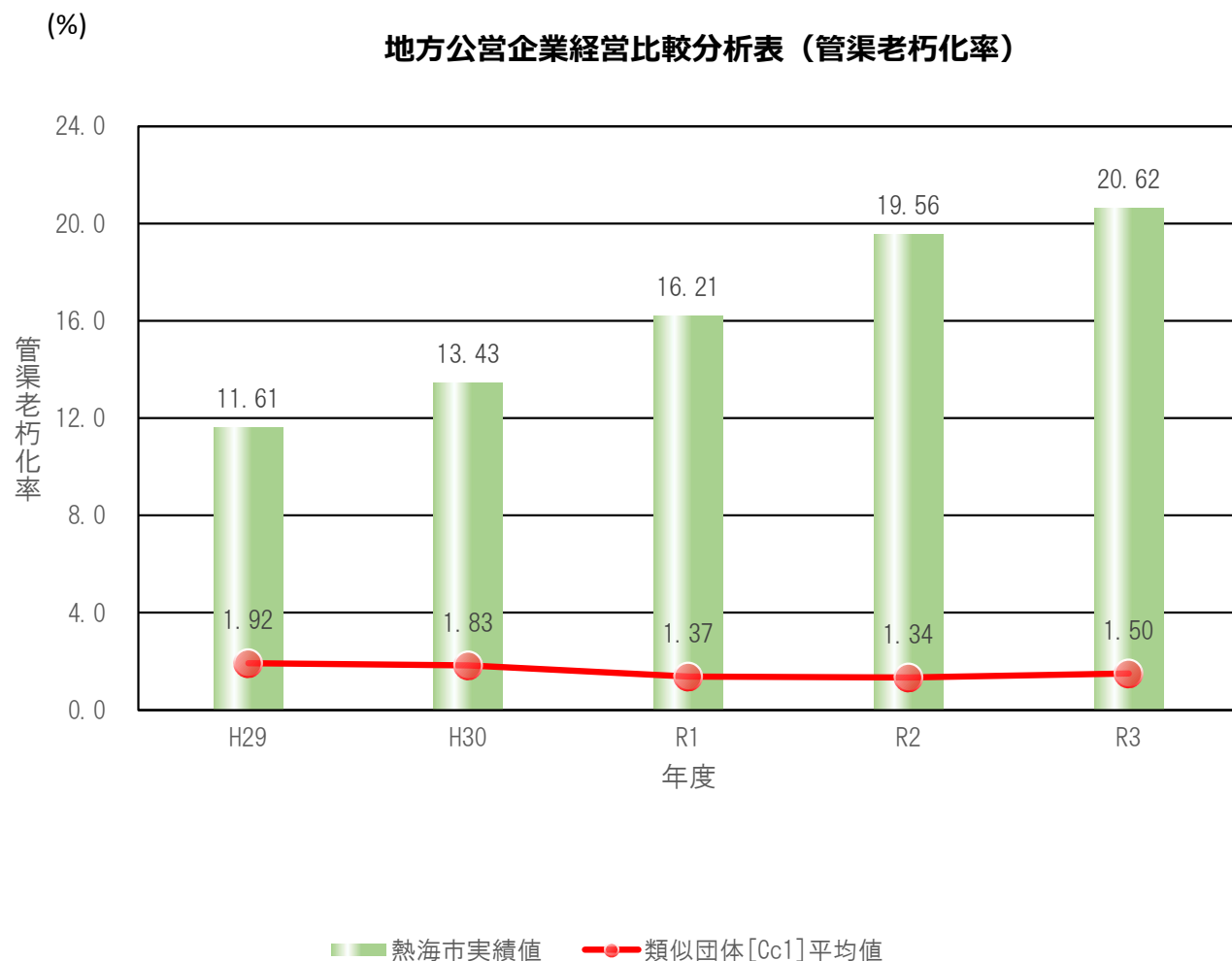


(2) 管渠老朽化の状況

- 施設は、全体的に老朽化が進んでいます。更新時には合わせて耐震化・強靱化を図ります。
- 施設の状況は事前調査を行い、優先順位を付けて計画的に改築を行うことしており、道路陥没等の危険度の低減を図っています。



本市の管渠老朽化率は年々上昇傾向にあり、令和3年度で20%程度となっており、類似団体の平均値を大幅に上回っています。

本市の管渠は昭和40年代から急激に整備が進められたため、今後はそれらの管渠が一斉に法定耐用年数（50年）を迎え、管渠老朽化率の上昇率はこれまで以上となります。

そのため、施設の予防保全のための修繕や事業費の平準化を図り、計画的かつ効率的な維持修繕・改築に取り組む必要があります。